

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

埼玉県 志木市

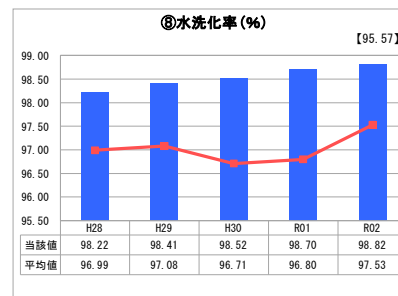
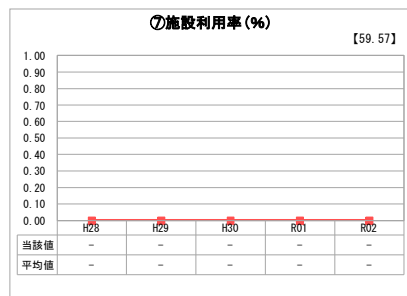
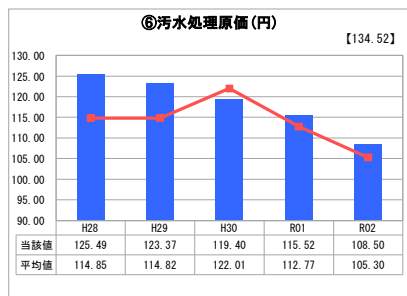
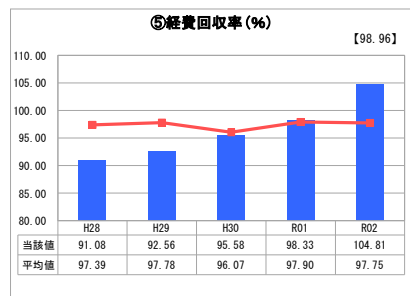
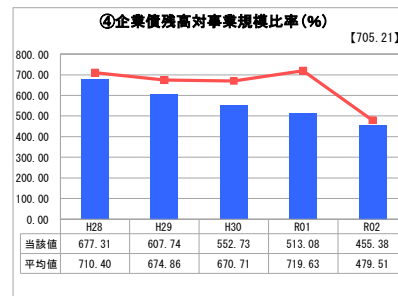
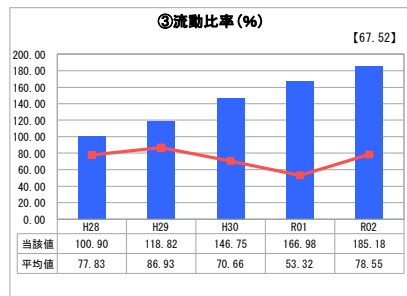
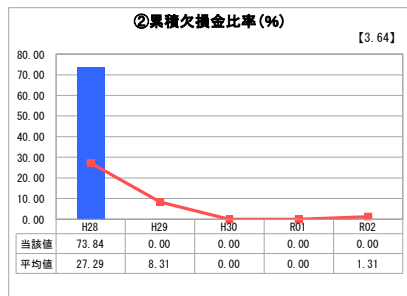
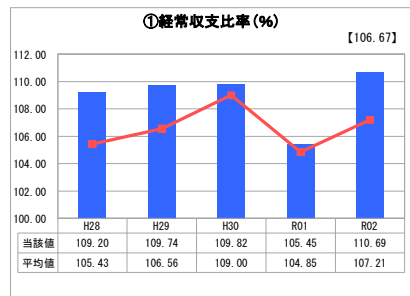
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ba	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	77.83	99.55	72.96	2,255

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
76,457	9.05	8,448.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
76,259	6.11	12,481.01

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率  
本市は、100%を超えている状況です。使用料収入が伸びたこと、また、ポンプ場機械設備の点検内容が年度によって項目が変わることや複数契約を一本化したことにより、事業費が抑えられたため、前年度と比べ経常収支比率は改善されました。

② 累積欠損金比率  
平成28年度は一時的な経理の結果、欠損金が生じましたが、平成29年度以降は、欠損金は発生しておりません。

③ 流動比率  
平成28年度以降100%を上回っており、短期的な債務に対する支払能力を有している状態です。

④ 企業債残高対事業規模比率  
本市の下水道整備は、昭和40年代にはじまり、平成初期がピークでした。その頃に借入れた企業債の償還が進んでいるため、企業債残高対事業規模比率が減少傾向にあります。

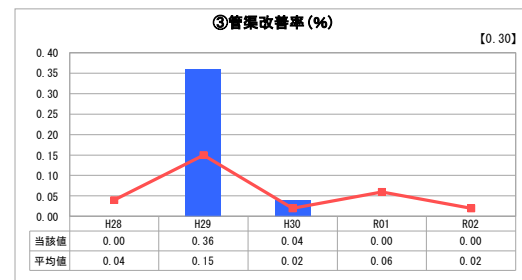
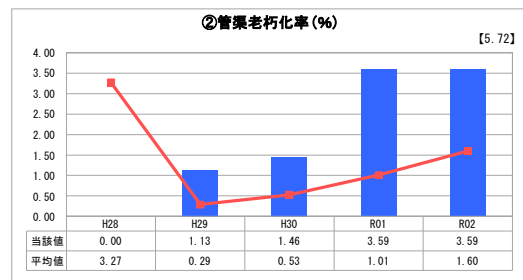
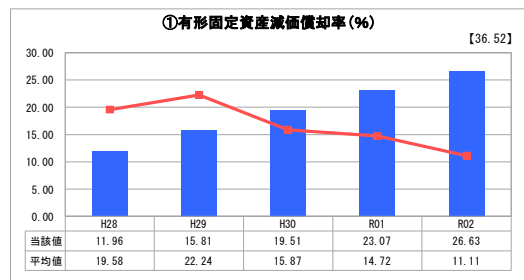
⑤ 経費回収率及び⑥汚水処理原価  
令和2年度は、収入が伸び、事業費が抑えられたことにより経費回収率が100%を超えました。しかし、管路、ポンプ場の更新及び耐震化に伴う減価償却費の増加が今後見込まれるため、引き続き適正な経費による事業運営を継続する必要があります。

⑧ 水洗化率  
100%に近い水準にありますが、若干の未水洗化地域が残っています。水洗化率は、下水道使用料に直結するものことから、引き続き接続を促進する方法を検討・実行していく必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

耐用年数を超える管渠が出始めましたが、ただちにこれら全てを更新する必要も少ないため、長寿命化事業及び耐震化事業を含めて、老朽化した施設の修繕・改築を計画的に進めていきます。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

本市の下水道事業は、令和2年度では、経費回収率が100%を上回ったものの、収入の中心となる下水道使用料は、人口の減少や、節水技術の向上等によって、今後減少していくものと予想されます。一方、資産のうち、耐用年数である50年を超える管渠が出始めていることから、更新・改修の必要が出てきています。今後、各種計画に基づく整備・改修事業により、費用の平準化を図っていきます。また、安定収入の確保を目指すとともに、適正な経費による事業運営を継続していきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。